

講義名	対)エンタテインメント演習			
担当教員	北村 裕美			
開講期・曜日・時限	前期集中 その他 その他	授業形態	演習	
履修開始年次	3年生	単位数	2	備考

主題と概要 本演習では、人を楽しませたり、喜ばせたり、癒したりできるエンタテインメントパフォーマンスの基本的スキルを習得する。個々のエンタイナー的素質を伸ばすために、手品・落語・音楽の各専門家からエンタテインメント技術をご指導いただく。これまで学んだコミュニケーションの理論を通して、エンタテインメントコミュニケーション能力の習得を目指す。
--

到達目標 本演習は、「対面型」で実施する。到達目標の達成のためには、授業形態や扱う教材等の関係上、対面型での授業が望ましいためである。「オンデマンド型」ではないため、時間割通りの時間帯に指定された教室で授業に出席する必要がある。なお、新型コロナウイルス感染症等の感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった場合は、解除後に補講等にて個別対応する。 到達目標は以下の通りである。 手品・落語・音楽それぞれの基本的な技能を習得し、披露できるようにする。
--

提出課題 レポート

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック 必要に応じて、個別に返却する。

評価の基準 実技試験（3種類）・・・75% レポート・・・25% 演習科目のため、出席回数が4分の3に満たない場合、単位認定されない。

履修にあたっての注意・助言他 講義日程は以下のとおりである。全日程に参加すること。 事前指導：7月19日(月)12:15～12:45(予定) 健康増進ルーム 演習：8月4、5、6日1～4限、7日1、2限 健康増進ルーム 授業形態には反復練習が不可欠である。動きと共にわり方を声に出しながらしっかりと練習してください。 特別型のため、感染予防に向けて生活や受講ルールを遵守してください。
--

教科書 ・使用しない。					

プリント資料及び参考文献 必要に応じて、授業中に資料を配布する。
--

授業計画 1. ガイダンス 2. 手品 カードマジックの体験 3. 手品 ロープマジックの体験 4. 手品 コインマジックの体験 5. 手品 発表に向けての練習 6. 落語 落語の楽しみ方（きく側）想像力 7. 落語 落語の楽しみ方（伝える側）表現力 8. 落語 発表に向けての個人練習 9. 落語 発表に向けてのペア練習 10. 音楽 手話歌の体験 11. 音楽 歌による自己紹介の体験 12. 音楽 グループ演奏の体験 13. 音楽 発表に向けての練習 14. 発表会 15. まとめ
--

授業形態（アクティブ・ラーニング）																
<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ア：PBL（課題解決型学習）</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ウ：ディスカッション、ディベート</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>エ：グループワーク</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>オ：プレゼンテーション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>カ：実習、フィールドワーク</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="checkbox"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	<input type="checkbox"/>	ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/>	エ：グループワーク	<input type="checkbox"/>	オ：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	カ：実習、フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		
<input type="checkbox"/>	ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="checkbox"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）													
<input type="checkbox"/>	ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/>	エ：グループワーク													
<input type="checkbox"/>	オ：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	カ：実習、フィールドワーク													
<input type="checkbox"/>	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）															

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間 予習：日頃からエンタテインメントに対して興味を持ち、テレビ・雑誌・新聞などから情報を得ること（1時間）。 復習：演技を習得するために反復練習すること（3時間）。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 本演習は、幅広い年齢層に対応できるコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を到達目標としており、ディプロマポリシーの一部を担っている。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用 志満家新笑 先生： 西宮市総合福祉センター事業課長、素人落語家 尾崎健一 先生： マジシャン 諸岡由依 先生： 武庫川女子大学音楽学部 非常勤講師

備考
